

2023年6月21日

東洋建設株主の皆様へ

上場会社名 東洋建設株式会社  
代表者 代表取締役専務執行役員 戴下貴弘  
(コード番号 1890 東証プライム)

### 当社の取締役候補者の選任プロセスに関する補足資料について

当社は、2023年6月12日付けプレスリリースにおいて、当社の中長期的な企業価値及び株主共同利益の最大化のためには当社が提案する役員候補者の選任が不可欠である旨をお知らせしており、多くの株主の皆様から建設的なフィードバックをいただいております。この度、皆様からのご要望も踏まえ、当社の取締役候補者の選任プロセス及び期待される役割等に関する補足資料（別紙）を作成いたしましたので、ご参照ください。

株主の皆様には、「**なぜ当社の中長期的な企業価値及び株主共同利益の最大化のためには当社が提案する取締役・監査役候補者の選任が不可欠なのか**」という点に関する当社取締役会の見解へのご理解を賜りますよう、また、**当社が提案する取締役・監査役候補者の選任にご賛成いただき、当社の中長期的な企業価値及び株主共同利益の最大化に繋がる最適なガバナンス体制の構築と当社新中計及び株主還元方針**へのご支援をいただきますようお願い申し上げます。

以上

# 取締役選任プロセスについて

2023年6月21日



- 当社は昨年夏ごろから、以下のプロセスに沿って当社にとって最適な取締役会のメンバー構成についての検討を重ねてきた
- 結果、取締役会における多様な視点による議論の充実及び経営の透明性向上のため、女性取締役の登用、独立社外取締役を過半数とする会社提案候補者の11名が最適であると判断
- YFOの株主提案候補者は、全員の総意として当社の役員指名・報酬委員会との面談に応じない旨、および、YFOの企業価値向上策に共感している旨を公表。この点は当社の中期経営計画の推進こそが最も当社の企業価値、株主共同の利益につながると考える当社の考えとは相容れないため、株主提案候補者全員の選任について反対を表明
- なお、現在の代表取締役である、武澤、藪下の2名はそれぞれ相談役及び顧問に就任するが、財界活動等に関する次世代への引継ぎを目的としており、いずれも任期は最大で1年であり、かつ、当社の経営に対する意思決定権を持たない為、当社の経営の執行サイドに影響を与えることはない

## Step 1

### 最適な取締役会構成の検討

- ダイバーシティの拡充  
▶ 女性取締役の選任
- ガバナンスの一層の強化  
▶ 過半数の独立社外取締役の確保

## Step 2

### 新中計達成のために 不可欠なスキルセットの検討

- 以下3点を重要なスキルと設定  
①グローバル経験  
②法務・リスクマネジメントの経験  
③新規投資・事業開発の知見

## Step 3

### 役員指名・報酬委員会での 候補者選定および面談実施

- 複数の独立した人材紹介会社より当社が求めるスキルを備えた人材をリストアップ
- 独立社外取締役が過半数を占める役員指名・報酬委員会が候補者と面談

## Step 4

### 役員指名・報酬委員会からの 答申・報告を受け、取締役会が決定

- 役員指名・報酬委員会では社外取締役の視点を反映した議論を実施
- 最終的に取締役会にて候補者を決定

## Step 3'

### YFO候補者とは面談できず、 当社主張とも相入れず

- YFO候補者にも面談を申し入れたが、拒否されたことから、当社の選任プロセスを軽視しているものと判断
- YFO主張に賛同している点も当社の考えと相容れず

# 『攻め』に転じる当社新中計を達成するための取締役会構成

- 当社は過去3回の中期経営計画の全てにおいて当社が定めた数値目標を着実に達成しており、「攻め」に転じる当社新中計の下では、当社は、**既存事業の着実な深耕と成長ドライバーとなる新規事業の推進・加速のために、新たなガバナンス体制へと進化**します。さらに、海洋土木、国内建築、海外建設及び洋上風力など当社事業に精通した新たな業務執行取締役体制の下で企業価値向上に向けた施策を実行し、当社新中計に掲げた経営目標の達成を追求していきます
- 当社取締役会の構成員は、当社及び当社株主の双方からの独立性を担保した**独立社外取締役に過半数**とすることで、**より透明性のある公正な経営を実現**、加えて、当社新中計の実現を効果的・効率的に達成する観点から、**新たに重要なスキルセットを設定し、そのスキルセットを満たす候補者を選定することで、より一層コーポレートガバナンス体制を強化**します。（「グローバル経験」「法務・リスクマネジメントの経験」「新規投資・事業開発の知見」）

	氏名	経営管理	営業	技術・ICT	重要スキル			重要スキル	重要スキル
					グローバル	サステナビリティ	財務・会計	法務・リスクマネジメント	新規投資・事業開発
当社提案候補者	社内	大林 東壽	●	●	●	●			●
		平田 浩美	●	●	●				●
		佐藤 護	●	●			●	●	●
		中村 龍由	●	●	●				●
		宮崎 敦	●			●		●	
	社外	藤谷 泰之	●	●		●		●	●
		鳴澤 隆	●			●		●	●
		大武 和夫				●		●	
		松永 明彦	●			●		●	●
		西川 泰藏	●		●	●			●
	重本 彰子	●			●		●		

当社提案の経営体制の下で当社の新中期経営計画に基づき引き続き経営を推進することで、

**YFOの企業価値向上策及びYFOのTOB提案を上回る企業価値・株主共同の利益を創出できる**

\*現代表取締役2名（武澤および薮下）は、事業遂行上で必要となる顧客や関係各所との円滑なトップリレーションの引継ぎ等の観点から相談役・顧問として新体制をサポートするものの、その任期は最大1年

## 当社が提案する役員候補者の選任が、 当社新中計を達成するためのガバナンス体制構築に不可欠であると確信

候補者氏名（現役職）	新中期経営計画の策定・実行における役割
 <p><b>大林 東壽</b> <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">再任</span> 取締役 専務執行役員 土木事業本部長兼安全環境部管掌</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基盤事業である土木事業及び新規事業である洋上風力分野に関する重点施策を策定</li> <li>■ 土木事業を長年に亘り率いた経験から、新たな代表取締役社長として新中期経営計画を牽引</li> </ul>
 <p><b>平田 浩美</b> <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">再任</span> 取締役 執行役員副社長 建築事業本部長兼安全環境部管掌</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 更なる深耕が期待される建築事業に関する重点施策を策定</li> <li>■ 長年に亘り建築事業を率いた経験から、代表取締役副社長として新中期経営計画を牽引</li> </ul>
 <p><b>佐藤 護</b> <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">再任</span> 取締役 常務執行役員 経営管理本部副本部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経営基盤の強化に資する人財戦略等の重点施策を策定すると共に、各事業分野の施策を踏まえて新中期経営計画の取り纏めを実施</li> <li>■ 業務執行取締役として新中期経営計画の目標達成のために経営に関与</li> </ul>
 <p><b>中村 龍由</b> <span style="background-color: #76923c; color: white; padding: 2px;">新任</span> 常務執行役員 土木事業本部副本部長兼洋上風力部管掌</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 土木事業本部副本部長兼洋上風力部管掌として土木事業及び洋上風力分野に関する重点施策を策定</li> <li>■ 業務執行取締役として新中期経営計画の目標達成のために経営に関与</li> </ul>
 <p><b>宮崎 敦</b> <span style="background-color: #76923c; color: white; padding: 2px;">新任</span> 経営管理本部 法務部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各事業分野に精通し経営管理に関する豊富な経験と幅広い知識を有することから、新中期経営計画期間における経営管理の要</li> </ul>

# 新中期経営計画を遂行するための体制（社外取締役）

候補者氏名	経歴および有するスキル / 新中期経営計画において期待する役割	役員指名・報酬委員会からの推奨コメント
 <p><b>藤谷 泰之</b></p> <p>再任 独立 社外</p> <p>■主なスキル 経営管理、営業、グローバル、サステナビリティ、財務・会計、法務・リスクマネジメント、新規投資・事業開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 三井物産(株)における役員経験および海外現地法人の社長経験を有し、電力事業やエネルギーインフラ事業に関する知見と豊富な実績を有する。また、当社新中計の策定においても、海外建設事業や洋上風力事業における基本戦略及び重点施策の立案に際して、グローバルな視点に立ち執行部門へ助言を行った</li> <li>■ 当社の<b>現任社外取締役の経験から当社事業への深い理解と、電力事業やエネルギーインフラ事業の知見を有する同氏が、今後も各事業に対して監督、助言等の役割を果たしていく</b>ことで、さらなるレジリエント企業への進化に向けた成長が期待できると判断した</li> </ul>	<p>パワービジネス、インフラストラクチャービジネスにおけるグローバル経験を有しており、M&amp;A戦略を含めた事業計画立案の経験を有している。</p> <p><b>新取締役会においては新任社外取締役候補者が多数を占める構成となることから、藤谷氏には再任頂き、新任取締役の当社への理解の深耕及び各自が一刻も早く期待する役割を担って頂くためにリーダーシップを担っていただきたい。</b></p>
 <p><b>鳴澤 隆</b></p> <p>新任 独立 社外</p> <p>■主なスキル 経営管理、グローバル、サステナビリティ、財務・会計、法務・リスクマネジメント、新規投資・事業開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (株)野村総合研究所において国内、海外での長年にわたる経営コンサルティング業務にて培われた企業経営に関する専門的な知見と海外事業における豊富な経験を有する</li> <li>■ 当社新中計において海外建設事業を推進する上で、<b>各進出国でローカライズ強化等の事業基盤の安定化を見据えるなか、国内外での経営コンサルティング業務の知見を活かし、中長期的な視野に立ち執行部門への適切な助言や監督を行っていただけると判断した</b></li> </ul>	<p>野村総合研究所の代表取締役副社長、ノムラリサーチ・インスティテュート・ドイツの社長を歴任し、国内外で経営コンサルティング業務に従事。</p> <p><b>当社がよりグローバルな企業へ昇華するための必要なスキルを有する候補者であり、当社の取締役に適任である</b></p>
 <p><b>大武 和夫</b></p> <p>新任 独立 社外</p> <p>■主なスキル グローバル、財務・会計、法務・リスクマネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本、米国、英国における弁護士としての活動経験を通じ、グローバルな企業法務に関する豊富な経験と専門的な知見を有する</li> <li>■ 当社新中計において海外建設事業を推進する上で、<b>国内外での弁護士経験を活かし各進出国での法務・リスクマネジメントに関する適切な助言や監督を行っていただけると判断しており、とりわけ、ガバナンスに関する助言を行ってきた経歴から、更なるガバナンス強化に向けてもご尽力頂けるものと判断した</b></li> </ul>	<p>当社が洋上風力分野も含め海外進出、海外調達を推進するにあたり、出先国法規制に加え、米国の域外適用法規制も含めたコンプライアンスを重視しなければならず、グローバルでの弁護士経験が重要になると思料。</p> <p><b>大武氏は米国、英国で弁護士として活躍されてきた経験を有した候補者であり、当社の取締役に適任である</b></p>

# 新中期経営計画を遂行するための体制（社外取締役）

候補者氏名	経歴および有するスキル / 新中期経営計画において期待する役割	役員指名・報酬委員会からの推奨コメント
 <p><b>松永 明彦</b>  <span>新任</span> <span>独立</span> <span>社外</span>  <b>■主なスキル</b>                      経営管理、グローバル、サステナビリティ、財務・会計、法務・リスクマネジメント、新規投資・事業開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住友信託銀行(株)では国内、海外でのM&amp;A業務に携わり、コーポレートファイナンスの豊富な経験と専門的な知見を有する。また、PwCアドバイザー合同会社において投資銀行・M&amp;A部門をゼロから立上げ、投資銀行本部長・M&amp;A 部門責任者を歴任し、経営管理の経験も有する</li> <li>当社新中計を推進する上で重要となる<b>M&amp;Aや異業種との協業等、積極的な投資戦略を見据えるなかで資本市場での豊富な経験を活かし、執行部門への適切な助言や監督を行っていただけると</b>判断した</li> </ul>	<p>新中期経営計画期間は、従来の土木事業からキャピタルインテンシブな領域（洋上風力事業）を拡大させていく。</p> <p>そのためには、資本効率や時間効率を考慮して、当社で足りない機能を拡充するためにはM&amp;Aを実施することが重要である。<b>松永氏は、M&amp;Aアドバイザーのエキスパートとしての知見がある候補者であり、当社の取締役に適任である</b>と考える</p>
 <p><b>西川 泰藏</b>  <span>新任</span> <span>独立</span> <span>社外</span>  <b>■主なスキル</b>                      経営管理、技術・ICT、グローバル、サステナビリティ、新規投資・事業開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現経済産業省、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構において、機械産業、電子・情報技術、再生可能エネルギー等の様々な分野における政策、また内閣府大臣官房審議官として科学技術、イノベーション政策に携わり、国際連合工業開発機関の事務次長としてSDGsの交渉に参加される等、国内外での産業政策や開発政策に関する豊富な経験と高度な専門的知見を有する</li> <li>当社新中計を推進する上で、様々な技術開発を見据えるなか、<b>産業政策や開発政策における経験・知見を活かし、中長期的な視野に立ち執行部門への適切な助言や監督を行っていただけると</b>判断した</li> </ul>	<p>当社はSDGs、カーボンニュートラルの実現に非常に責任を感じており、従来より洋上風力やCO2吸収装置や石炭灰等のCO2固定および資材化に関する技術開発に取り組むなど環境に配慮したビジネス展開を行っていた。<b>パリ協定により、世界が2050年カーボンニュートラルを目標とするなかで、西川氏は日本及び世界のエネルギー政策に詳しい経済産業省におられ、国連の環境関係の職におられたことから、当社の取締役に適任である</b>と考える</p>
 <p><b>重本 彰子</b>  <span>新任</span> <span>独立</span> <span>社外</span>  <span>女性</span>  <b>■主なスキル</b>                      経営管理、グローバル、サステナビリティ、財務・会計、法務・リスクマネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日米の産官学における幅広い実務経験や研究を通じてコーポレート・ガバナンス、企業倫理、ESG経営、SDGs等に関する豊富な経験と専門的な知見を有する</li> <li>当社新中計において持続可能な企業として経営基盤を高度化させていくに当たり、<b>産官学における幅広い実務経験や研究を活かし、ステークホルダーエンゲージメントの観点から執行部門への適切な助言、監督を行っていただけると</b>判断した</li> </ul>	<p>当社はSDGs及び当社が定めるマテリアリティ（重要課題）の解決を図るための経営体制を実現する必要がある一方で、ESG及びマテリアリティに関する情報に関して、株主様をはじめとしたステークホルダーへの情報発信が不足しており改善することが重要である。<b>重本氏は大学ビジネススクールの教授としてSDGs、マテリアリティ等のESG経営等の知見を有することに加え、外資系証券会社や格付会社、証券取引等監視委員会での業務経験を有しており、より株主利益に資するための開示やガバナンスに関して助言を頂けるもの</b>と考える。また、女性取締役として、女性活躍の推進強化を担って頂くため、<b>当社の取締役に適任である</b>と考える</p>



本資料は、当社の2023年6月12日付けリリース「当社取締役会の見解：当社の中長期的な企業価値及び株主共同利益の最大化のために不可欠な当社提案の役員候補者の選任等について」の理解に資する目的で作成されたものであり、これらの解釈に影響を与えるものではありません。